

■ アルミニウム品種表示例

アルミニウム記号の概要

アルミニウム合金記号

$$\frac{A}{\textcircled{1}} - \frac{5052}{\textcircled{2}} - \frac{P}{\textcircled{3}} - \frac{H34}{\textcircled{4}}$$

① 材料記号:アルミニウム及びアルミニウム合金をAで表している

② 合金番号

1000番台	主要添加元素
1XXX	純アルミニウム
2XXX	Al-Cu系合金
3XXX	Al-Mn系合金
4XXX	Al-Si系合金
5XXX	Al-Mg系合金
6XXX	Al-Mg-Si系合金
7XXX	Al-Zn-Mg系合金
8XXX	上記以外の系統の合金

③ 形状記号

形状記号	形状	備考
P	板、条、円板	Plate
H	はく	Haku
BE	棒(押出)	Bar(Extruded)
BD	棒(引抜)	Bar(Drawn)
W	線	Wire
TE	管(押出)	Tube(Extruded)
TD	管(引抜)	Tube(Drawn)
S	型材	Shape

④ 質別記号

記号	定義	意味
F	製造のままのもの	特に調質の指定もなく製造された状態を示す(機械的性能を定義しない)
H112	熱間加工上がりのもの	積極的な加工硬化を加えず、製造されたままの常態で機械的性能を保証したもの
O	焼きなましたもの	最も軟らかい状態を得るように焼きなましたもの
H	加工硬化したもの	冷間加工で硬化したもの
H1X	加工硬化のみのもの	冷間加工で調質したもの(中間焼鈍をし、冷間圧延をする。) [加工硬貨の方法]
H2X	加工硬化後軟化熱処理を加えたもの	H程度まで冷間加工後、焼きなましによって調質したもの ["]
H3X	加工硬化後安定化処理をしたもの	冷間加工で調質後、低温加熱(150度程度)による安定化処理を加えたもの ["]
HX2	引張強度がOとHX4の中間程度	1/4硬質 [加工硬貨の程度]
HX4	引張強度がOとHX8の中間程度	1/2硬質 ["]
HX6	引張強度がHX4とHX8の中間程度	3/4硬質 ["]
HX8	通常の加工で得られる最大引張強さ	硬質 ["]
T3	溶体化処理(焼きいれ)後冷間加工をほどこし、更に自然時効させたもの	溶体化処理後、冷間加工(強度の向上と平坦度、寸法制度の向上の為)を加え更に安定な状態まで自然時効させたもの
T4	溶体化処理後自然時効させたもの	溶体化処理後、積極的な冷間加工を加えず、安定な状態まで自然時効させたもの
T5	高熱加工により冷却後人工時効処理(焼戻し)したもの	押出材のように高温の製造工程から冷却後積極的に冷間加工を加えず人工時効処理したもの
T6	溶体化処理後人工時効させたもの	溶体化処理後、積極的に冷間加工を加えず、人工時効処理したもの